

知ると知らないとでは大違い？

Studyaid D.B. 時短ワザのご紹介

今回は、Studyaid D.B. の時短ワザをご紹介します。

少しでも日々のプリント作成の助けになれば幸いです。

以下の問題の「解説」を作成することを例に、見ていきましょう。

[スタンダード数学Ⅱ 問題178]

△ABCの重心をGとする。このとき、次の等式が成り立つことを証明せよ。

$$AB^2 + AC^2 = BG^2 + CG^2 + 4AG^2$$

時短ワザ① パッと入力領域を広げたい！

解説

直線BCをx軸にとり、辺BCの垂直二等分線をy軸にとると、3頂点はA(a, b), B(-c, 0), C(c, 0)と表すことができ

このとき

時短ワザ② 書体を簡単に切り替えるには？

$$\begin{aligned} AB^2 + AC^2 &= \{(-c-a)^2 + (0-b)^2\} + \{(c-a)^2 + (0-b)^2\} \\ &= 2(a^2 + b^2 + c^2) \end{aligned}$$

また、△ABCの重心Gの座標は

$$\left(\frac{a + (-c) + c}{3}, \frac{b + 0 + 0}{3} \right)$$

すなわち $\left(\frac{a}{3}, \frac{b}{3} \right)$

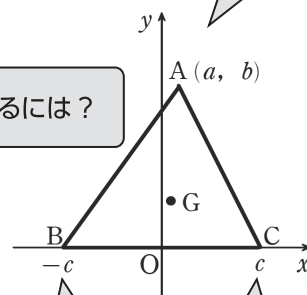
よって $BG^2 + CG^2 + 4AG^2$

$$\begin{aligned} &= \left\{ \left(\frac{a}{3} + c \right)^2 + \left(\frac{b}{3} - 0 \right)^2 \right\} + \left\{ \left(\frac{a}{3} - c \right)^2 + \left(\frac{b}{3} - 0 \right)^2 \right\} + 4 \left\{ \left(\frac{a}{3} - a \right)^2 + \left(\frac{b}{3} - b \right)^2 \right\} \\ &= 2(a^2 + b^2 + c^2) \end{aligned}$$

ゆえに $AB^2 + AC^2 = BG^2 + CG^2 + 4AG^2$

時短ワザ③ 数式入力を手早く！

時短ワザ④ 図の作成に手が掛かる



時短ワザ⑤ 水平位置の調整が大変

時短ワザ① 「Ctrl + Enter」 一瞬でスペース確保！

問題を新規作成し、とりあえず入力領域を広げる際や、作図するためのスペースを確保する際、Enterキーを連打したり、長押ししたりしていませんか？

「Ctrl」キーを押しながら「Enter」キーを押すと、入力領域を一気に10行分広げられます。

時短ワザ② 入力モードは「Ctrl + M」、書体モードは「Alt + R」モードの切り替えをスムーズに！

文章入力モードのときに、「Ctrl」キーを押しながら「M」キーを押すと、数式入力モードに切り替わります。もう一度押すと、文章入力モードに戻ります。

数学のプリント作りにおいてもっとも登場すると言っても過言ではない、働き者のショートカットキーです。

数式でアルファベットを入力するとき、

「ローマン書体とイタリック書体を混在させたいけど、切り替えが面倒！」と思ったことはありませんか？

Studyaid D.B. のデフォルトの書体モード「数研AUTO」では、数式入力時にアルファベットが自動的にイタリックで入力されるようになっています¹⁾。

「Alt」キーを押しながら「R」キーを押すと、「数研AUTO」と「ローマン書体」を切り替えることができます。再びイタリック書体で入力したい場合は、もう一度押すことで戻ります。

$$\frac{AB^2 + AC^2}{(1)} = \frac{\{(-c-a)^2 + (0-b)^2\}}{(2)}$$

- (1) 「Alt + R」でモードを切り替え、ローマン書体で入力
- (2) 「Alt + R」で数研AUTOに戻し、イタリック書体で入力

時短ワザ③ 「Alt + T」、「Ctrl + ^」、「Ctrl + /」… 数式・記号もショートカットキーでみるみる時短！

数式や記号の入力にも、たくさんのショートカットキーが用意されています²⁾。

・ △	Alt + T
・ 上付き (■ [■])	Ctrl + ^ (へ)
・ 分数 (■/■)	Ctrl + / (め)

こんなものも…	
・ ルート (√■)	Ctrl + R
・ ±	Ctrl + ; (れ)

- 1) 一方で文章入力では、アルファベットが自動的にローマン書体で入力されるようになっています。「Alt」キーを押しながら「L」キーを押すと、「数研AUTO」と「イタリック書体」を切り替えることができます。
- 2) 今回で紹介したものの他にも、たくさんのショートカットキーがあります。実用Printの「エディタ機能_ショートカットキー一覧.PRT」や、ヘルプ(ショートカットキー一覧)をご覧ください。

時短ワザ④ 「部品登録」 有用な部品は登録してパッと呼び出し！

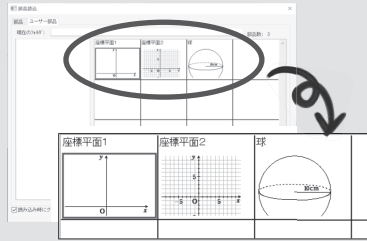
「よく使う座標平面」や「作るのが大変な図形」などは、部品登録しておくと、毎回一から作る必要なく、呼び出して配置することができます。

【部品登録】

登録したい図形などをクリックして選択し、右クリックメニューの「部品登録」から行えます。

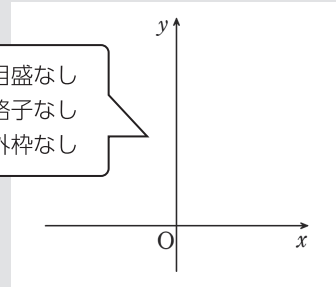
【部品の呼び出し】

「図形」タブ→「部品」→「ユーザー部品」タブと進み、登録した部品を選んで配置します。



例) 図形と方程式の問題用の座標平面

- ・目盛なし
- ・格子なし
- ・外枠なし



時短ワザ⑤ 「整列」 位置調整の手にサヨナラ！

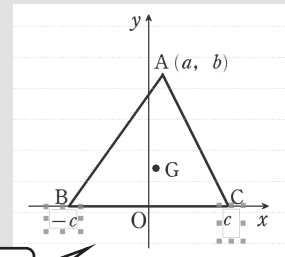
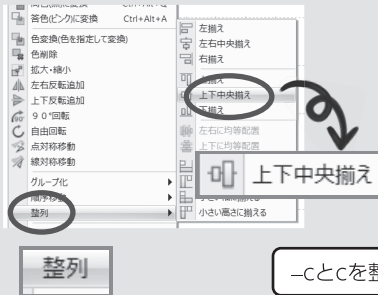
作成した図形などについて、「水平位置や垂直位置をピッタリ揃えたいのにうまくいかない！」と思ったことはありませんか？

整列機能を利用すると、

上下左右揃え、中央揃えはもちろん、3つ以上の対象の均等配置なども簡単に行うことができます。

【整列】

整列したい図形などを、Shiftキーを押しながらクリックして複数選択し、右クリックメニューの「整列」から行えます。



-cとcを整列！